

まちなかに芸術は潜んでいる



B班 福井工業大学 矢口 裕史
仁愛大学 福田 栞永
福井大学 酒谷 穂佳

除雪の際に空き地に雪が残された。



除雪の際に空き地に雪が集められた。

やがて地域のこどもたちは少しずつ遊び場に転用していった。



除雪の際に空き地に雪が集められた。

やがて地域のこどもたちは少しずつ遊び場に転用していった。

徐々に雪は形を変え、遊びの用途も変化していく。

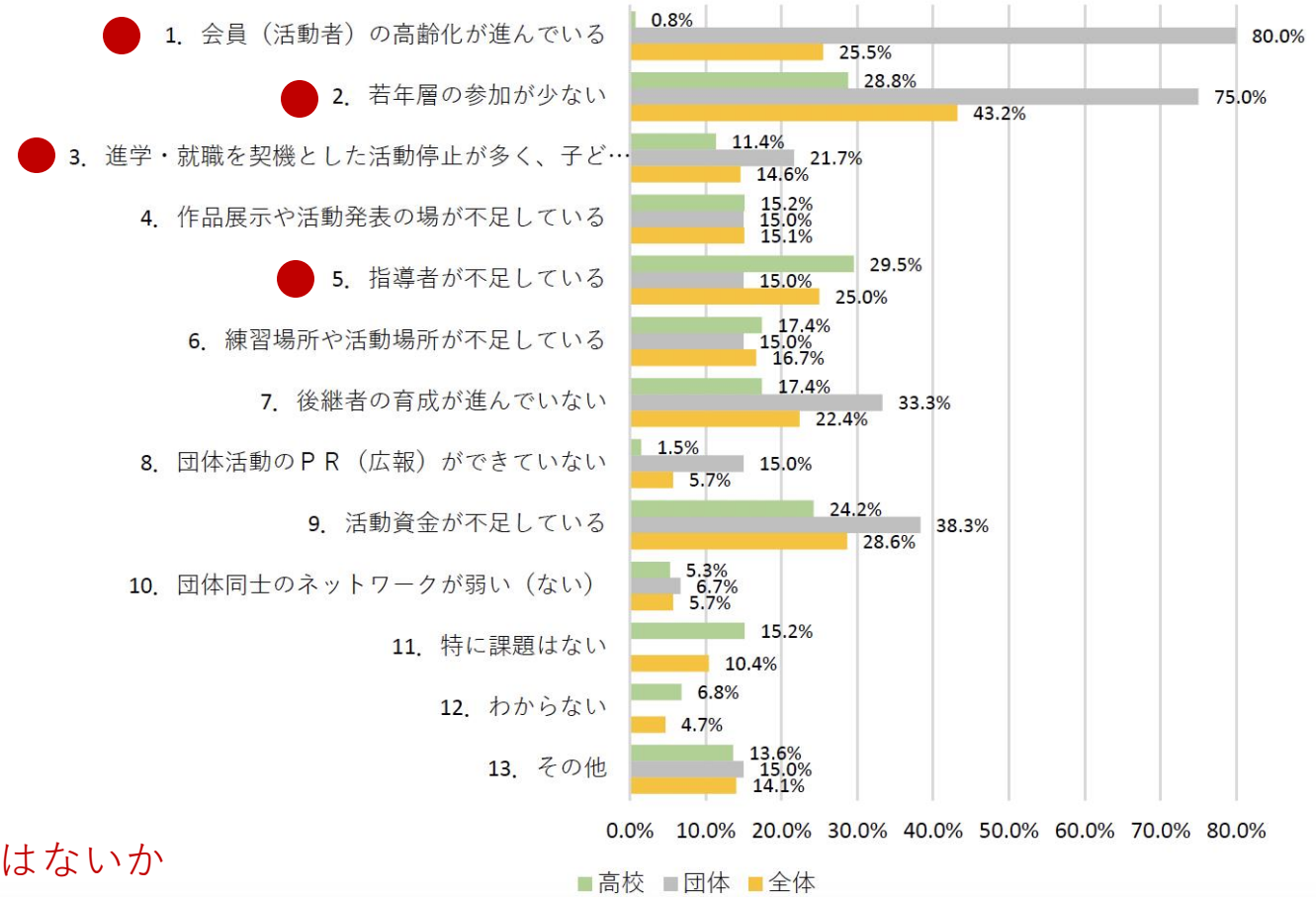




現状・課題

- ・文化活動の担い手や鑑賞者の高齢化
- ・若年層の参加率の少なさ
- ・進学・就職を契機に活動停止

活動していく上での課題



(仮説) 文化・芸術活動の敷居の高さに問題があるのではないか

表1 令和4年度 本県の芸術文化活動に関するアンケート調査

現状・課題

芸術作品の制作や鑑賞態度のみが文化的活動として認識されてしまっている



実は既にそこにある文化や魅力を「当たり前」として認識してしまっている

目標

本提案は特定の作品制作を目的とするのではなく、**既にある福井での営み（職能）**
に内在する創造性やその魅力に着目し、それらを一度距離を置いた視点から見つめ
直すことで創造的価値の再認識を促すことを目的とする

解決策/事業案① 創造的な除雪による日常風景と従来の除雪の再認識



解決策/事業案① 創造的な除雪による日常風景と従来の除雪の再認識

ターゲット：福井県民、地域住民、（未来のこどもたち）

内容：除雪後に残る雪の解釈を広げ、平らに消すのではなく、即興的・創造的に扱う

期間：冬季（降雪期）

回数：期間中随時（積雪状況に応じて）

場所：1.住宅地の空き地 2.市街地の小規模広場 3.文化施設公共施設に付随する屋外広場

解決策/事業案① 目標

短期（1年） : 日常風景や生業に対する「見方の変化」

中期（2,3年） : 地域内での認識の変化の定着 継続的な実施による慣習化

長期（5年） : 日常行為に創造的視点を持つ風土、仕事や風景に対する鑑賞態度の普及

10年ー : Uターン・関係人口への波及

さらに長い目で見れば、福井の外に出た時に福井の除雪方法が創造的であり、
特徴的であったことに気づく → 福井の魅力を再認識することになる

解決策/事業案① 年間スキーム

冬：除雪の実施・記録

春：記録の展示・アーカイブ

夏：次の冬の除雪を想像する「寒い夏 WS」などを実施

秋：2度目の記録の展示 WSでのアイデアをビジュアル化（期待を誘う）

解決策/事業案② 切り取られた日常風景を探す旅（仮） —写真や絵画を通じた日常風景の再認識—

ターゲット：福井県民 地域住民 （未来のこどもたち）

内容：展示場所周辺にある風景の一部を写真や絵画の媒体で切り取り、展示・発信

期間：各季節

回数：各季節ごとに2～3回程度

場所：駅 文化施設 公共施設 徒歩に適した地域で人が訪れやすい施設



YAMAGUCHI
山 国 七

スコッチ&コーヒ
サロンの口

真由美

ELEGANT



つばき

仙臺 権太

伴

パルティム
3時〜4時

本格派
キメン
のきと

おの
君酒屋

メロン

スナック
まんまる

花の葉

アゼダ

OMEGA

三枝栄司
開陽亭

正味酒造
トラム缶

豆

ボチボチの感子
アラチナ
駄菓子食べ放題!!

Lounge & Bar

Story
ストーリー



解決策/事業案②の目標

- ・ 日常風景に対する「見方の変化」
- ・ 何気ない日常風景に価値を見つけ出す人が増える
- ・ 文化・芸術活動をより日常生活の延長線上として捉える



福井に住む人たちの「日常風景に対する認識」が変化することで、**既にある魅力を創造的な視点から捉え、より生活が豊かに感じられる社会**になることに期待したい。

実はどんな職業もかっこいい。

ただ必要なのは、本来その営みに内在する創造性を発揮することだけだ。